



このコンテンツは公開から3年以上経過しており内容が古い可能性があります  
最新情報については[サービス別資料](#)もしくはサービスのドキュメントをご確認ください

# [AWS Black Belt Online Seminar]

## AWS Cost Explorer

AWS Customer Service TCSA 中村一至

2020.1.29

AWS 公式 Webinar  
<https://amzn.to/JPWebinar>



過去資料  
<https://amzn.to/JPArchive>



# 自己紹介

中村 一至(なかむら かずし)

## [所属/役割]

- Customer Service TCSA
- アカウントや料金に関するお問い合わせ担当

## [好きなAWSサービス]

- AWS Cost Explorer
- AWSサポート



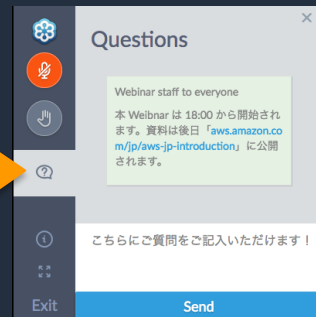
# AWS Black Belt Online Seminar とは

「サービス別」「ソリューション別」「業種別」のそれぞれのテーマに分かれて、アマゾンウェブ サービス ジャパン株式会社が主催するオンラインセミナーシリーズです。

## 質問を投げることができます！

- 書き込んだ質問は、主催者にしか見えません
- 今後のロードマップに関するご質問は  
お答えできませんのでご了承下さい

- ① 吹き出しをクリック
- ② 質問を入力
- ③ Sendをクリック



Twitter ハッシュタグは以下をご利用ください  
#awsblackbelt

# 内容についての注意点

- 本資料では2020年1月29日時点のサービス内容および価格についてご説明しています。最新の情報はAWS公式ウェブサイト(<http://aws.amazon.com>)にてご確認ください。
- 資料作成には十分注意しておりますが、資料内の価格とAWS公式ウェブサイト記載の価格に相違があった場合、AWS公式ウェブサイトの価格を優先とさせていただきます。
- 価格は税抜表記となっております。日本居住者のお客様には別途消費税をご請求させていただきます。
- AWS does not offer binding price quotes. AWS pricing is publicly available and is subject to change in accordance with the AWS Customer Agreement available at <http://aws.amazon.com/agreement/>. Any pricing information included in this document is provided only as an estimate of usage charges for AWS services based on certain information that you have provided. Monthly charges will be based on your actual use of AWS services, and may vary from the estimates provided.

# 本セッションの目的

AWSコスト管理担当者が…

コスト分析ツールの  
**Cost Explorer**を理解する

機能を理解することで…



コストを正しく把握できるようになる

最終的には…



**コスト最適化**を実現できるようになる

# 本日のアジェンダ

- Cost Explorerとは？
- Cost Explorerの開始方法
- Cost Explorerの機能
- 主な既存構成レポート
- 推奨事項
- Saving Plans
- 予約
- 設定
- ユースケース別のコスト確認方法
- まとめ

# Cost Explorerとは？

# Cost Explorerとは？



サービスごとの費用を  
簡単に知りたい

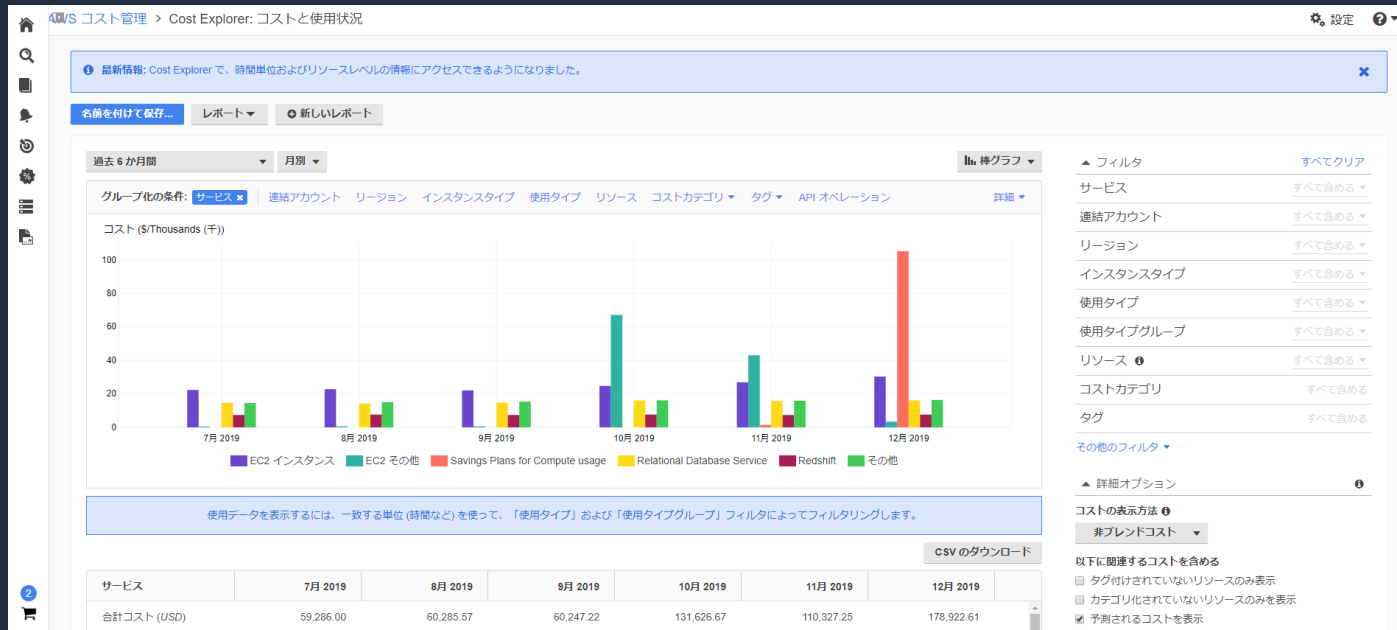
システムや部門、プロジェクトごとに  
利用料をグラフ化して知りたい

**Cost Explorerにて実現できます！**



# Cost Explorerとは？

## AWSリソースの使用量・使用料金を 可視化し確認・分析できるツール



# Cost Explorerとは？

## Cost Explorerでできること

- 最大過去13ヶ月分のAWSのコストを**グラフで可視化**
- **フィルター**や**グルーピング**によるカスタマイズ
  - メンバーアカウント毎のコスト分析
  - タグによるプロジェクト毎のコスト分析
- **リザーブドインスタンス(RI)**および**Savings Plans**の分析
  - コスト削減効果の確認
- **コスト最適化提案**の推奨
  - EC2リソースでの無駄遣いはないか
  - RIによるコスト削減の余地はないか
- 過去の使用状況から今後3ヶ月間のコストを**予測**

# Cost Explorerとは？

## 主な既存構成レポート(後ほど改めてご紹介)

- **Monthly costs by service**  
サービスごとの月別使用料
- **Monthly costs by linked account**  
連結アカウントごとの月別使用料
- **Monthly EC2 running hours cost & usage**  
毎月のEC2実行時間のコストと使用状況
- **RI Utilization**(EC2, RDS, Redshift, ElastiCache, Elasticsearch Service)  
RIの使用状況(無駄なくRIが適用されているか確認可能)
- **RI Coverage**(EC2, RDS, Redshift, ElastiCache, Elasticsearch Service)  
稼働インスタンスにおけるRIのカバー率状況
- **Utilization report**  
Savings Plansの使用状況(無駄なくSavings Plansが適用されているか確認可能)
- **Coverage report**  
稼働インスタンスにおけるSavings Plansのカバー率状況

The screenshot displays the AWS Cost Explorer interface. At the top, there are buttons for '名前を付けて保存...' (Save with name...), 'レポート' (Reports), and '新しいレポート' (New report). Below these, a dropdown menu is open, listing various report types: 'コストと使用状況レポート' (Cost and usage report), 'Monthly costs by service', 'Monthly costs by linked account', 'Monthly EC2 running hours costs and usage', 'Daily costs', 'AWS Marketplace', '予約レポート' (Reservation report), 'RI Utilization', 'RI Coverage', 'Savings Plansのレポート' (Savings Plans report), 'Utilization report', 'Coverage report', and 'ユーザー定義のレポート' (User-defined report). On the left side of the interface, a chart area is partially visible, showing a y-axis labeled 'コスト (\$)' (Cost (\$)) with values from 200 to 500, and a section for 'グループ化の条件:' (Grouping conditions).

# Cost Explorerの開始方法

# Cost Explorerの開始方法

## Step 1: Cost Explorerの有効化

BillingマネジメントコンソールからCost Explorerを有効化できます

The screenshot shows the AWS Billing Management Console interface. On the left is a navigation menu with 'Cost Explorer' highlighted in a red box. The main content area is titled 'コストエクスプローラーへようこそ' (Welcome to Cost Explorer). Below the title, there is a blue button labeled 'コストエクスプローラーを有効化' (Activate Cost Explorer), also highlighted in a red box. The page contains three columns of information:

- 構成済みのビューを使用する** (Use pre-configured views): Explains that users can view cost distribution by service or account and reference 3-month daily usage data. Includes a link for '詳細情報' (More information).
- 使用量を分析** (Analyze usage): Explains that users can use Cost Explorer to confirm and analyze past usage. Includes a link for '詳細情報' (More information).
- ダウンロードまたはブックマーク** (Download or bookmark): Explains that users can download data from reports or bookmark reports. Includes a link for '詳細情報' (More information).

注1 データ生成までには24時間ほどかかります

注2 24時間ごとに少なくとも一度コストデータを更新します

注3 Organizationsの場合、支払い(親)アカウントで有効化を行なう必要があります

# Cost Explorerの開始方法

## Step 2-1: Cost Explorerの起動

BillingマネジメントコンソールからCost Explorerを起動できます



ホーム

コストエクスペローラー ?

Cost Management

**Cost Explorer**

Budgets

Budgets Reports

節約プラン

Cost & Usage Reports

Cost Categories (beta)

コスト配分タグ

Billing

請求書

注文と請求書

クレジット

設定

Billing の設定

お支払方法

一括請求

課税設定

コストエクスペローラー

🔍 コストエクスペローラーを起動

使用量をグラフにしてビジュアル化し、それを分析します。データ範囲、サービス、タグ、またはそれらを組み合わせて表示をフィルターします。 [詳細情報](#)

構成済みのビュー

一般的な使用量に関する問い合わせに回答するためにあらかじめ設定されたビューからさっそく始めてみましょう。そこからビューをカスタマイズすることもできます。

サービス別の月別使用量ビュー

AWS サービスでグループ化した、過去 3 か月間の月別使用量

リンクアカウント別の月別使用量ビュー

リンクアカウントでグループ化した、過去 3 か月間の月別使用量。一括請求の支払いアカウントでのみ使用可能

日別使用量ビュー

過去 60 日の日別使用量

# Cost Explorerの開始方法

## Step 2-2: Cost Explorerの起動

サービスからCost Explorerを選択/起動することもできます

The screenshot shows the AWS Management Console interface. At the top, the navigation bar includes the AWS logo, a 'サービス' (Services) dropdown menu highlighted with a red box, and other navigation elements like 'リソースグループ' and 'ヘルプ'. The main content area is titled 'AWS マネジメントコンソール'. On the left, under 'AWS のサービス', there is a search box labeled 'サービスを検索する' (Search for services) with the text 'cost explorer' entered. Below the search box, the results for 'AWS Cost Explorer' are displayed. On the right side of the console, there are several informational panels, including '外出先でリソースにアクセスする' (Access resources while traveling) and 'AWSを試す' (Try AWS), which list various AWS services like Amazon Redshift, AWS Fargate, and Amazon S3.

# Cost Explorerの機能



# Cost Explorerの機能

## ダッシュボード

コストと利用状況の傾向を確認できます

The screenshot shows the AWS Cost Explorer dashboard. Three orange callout boxes point to specific features: '今月の初めから今日までのコスト (前月のコストと比較)' points to the current month's cost of \$170,309.18; '月末の予測コスト (前月のコストと比較)' points to the predicted end-of-month cost of \$179,941.90; and '今月の傾向' points to the 63% increase in cost compared to the previous month. A fourth callout, '日別のコスト', points to a bar chart showing daily costs. A fifth callout, '最近確認したレポート', points to a table of reports. The dashboard also includes a sidebar with navigation options and a 'カート' (Cart) section at the bottom left.

今月の初めから今日までのコスト (前月のコストと比較)

月末の予測コスト (前月のコストと比較)

今月の傾向

日別のコスト

最近確認したレポート

レポート名	レポートタイプ	時間の詳細度	最終アクセス時間
Monthly EC2 running hours costs and usage	コストと使用状況	月別	1日前
Monthly costs by service	コストと使用状況	月別	1日前
Daily costs	コストと使用状況	日別	1日前
Monthly costs by linked account	コストと使用状況	月別	1日前
RI Coverage	予約カバレッジ	日別	1ヶ月前
RI Utilization	予約の利用率	日別	1ヶ月前

# Cost Explorerの機能

## カスタマイズ機能

The screenshot shows the AWS Cost Explorer interface with several callout boxes highlighting customization features:

- 3種のテンプレートから新規レポートを作成**
  - Cost & Usage report
  - RI Utilization report
  - RI Coverage report
- フィルタの設定**
- カスタマイズしたレポートの設定を名前をつけて保存可能**
- グループの設定**
- 表示期間と日/月単位の選択**
- グラフ形式の選択**
  - 棒グラフ (Bar)
  - 折れ線グラフ (Line)
- オプションの設定**

The interface also displays a bar chart showing costs in thousands of dollars for the months of July, August, September, October, November, and December 2019. The chart compares EC2 instances, other EC2 resources, and Savings Plans for Compute usage. Below the chart is a table with the following data:

サービス	7月 2019	8月 2019	9月 2019	10月 2019	11月 2019	12月 2019
合計コスト (USD)	59,286.00	60,285.57	60,247.22	131,626.67	110,327.25	178,922.61

# Cost Explorerの機能

## カスタマイズ機能(レポートの作成/保存)

5種のテンプレートから新規レポートを作成

- ・ Cost & Usage report
- ・ RI Utilization report
- ・ RI Coverage report
- ・ Savings Plans Utilization report
- ・ Savings Plans Coverage report

カスタマイズしたレポートの設定を名前をつけて保存可能

AWS コスト管理 > Cost Explorer: コストと使用状況

最新情報: Cost Explorer で、時間単位およびリソースレベルの情報にアクセスできるようになりました。

名前をつけて保存... レポート 新しいレポート

過去 6 か月間 月別

グループ化の条件: サービス \* 連結アカウント リージョン インスタンスタイプ

コスト (\$Thousands (千))

7月 2019 8月 2019 9月 2019 10月 2019 11月 2019 12月 2019

■ EC2 インスタンス ■ EC2 その他 ■ Savings Plans for Compute usage ■ Relational Database Service ■ Redshift ■ その他

使用データを表示するには、一致する単位 (時間など) を使って、「使用タイプ」および「使用タイプグループ」フィルタによってフィルタリングします。

CSV のダウンロード

サービス	7月 2019	8月 2019	9月 2019	10月 2019	11月 2019	12月 2019
合計コスト (USD)	59,286.00	60,285.57	60,247.22	131,626.67	110,327.25	178,922.61

▲ フィルタ [すべてクリア](#)

- サービス [すべて含める](#)
- 連結アカウント [すべて含める](#)
- リージョン [すべて含める](#)
- インスタンスタイプ [すべて含める](#)
- 使用タイプ [すべて含める](#)
- 使用タイプグループ [すべて含める](#)
- リソース [すべて含める](#)
- コストカテゴリ [すべて含める](#)
- タグ [すべて含める](#)

その他のフィルタ

▲ 詳細オプション

コストの表示方法

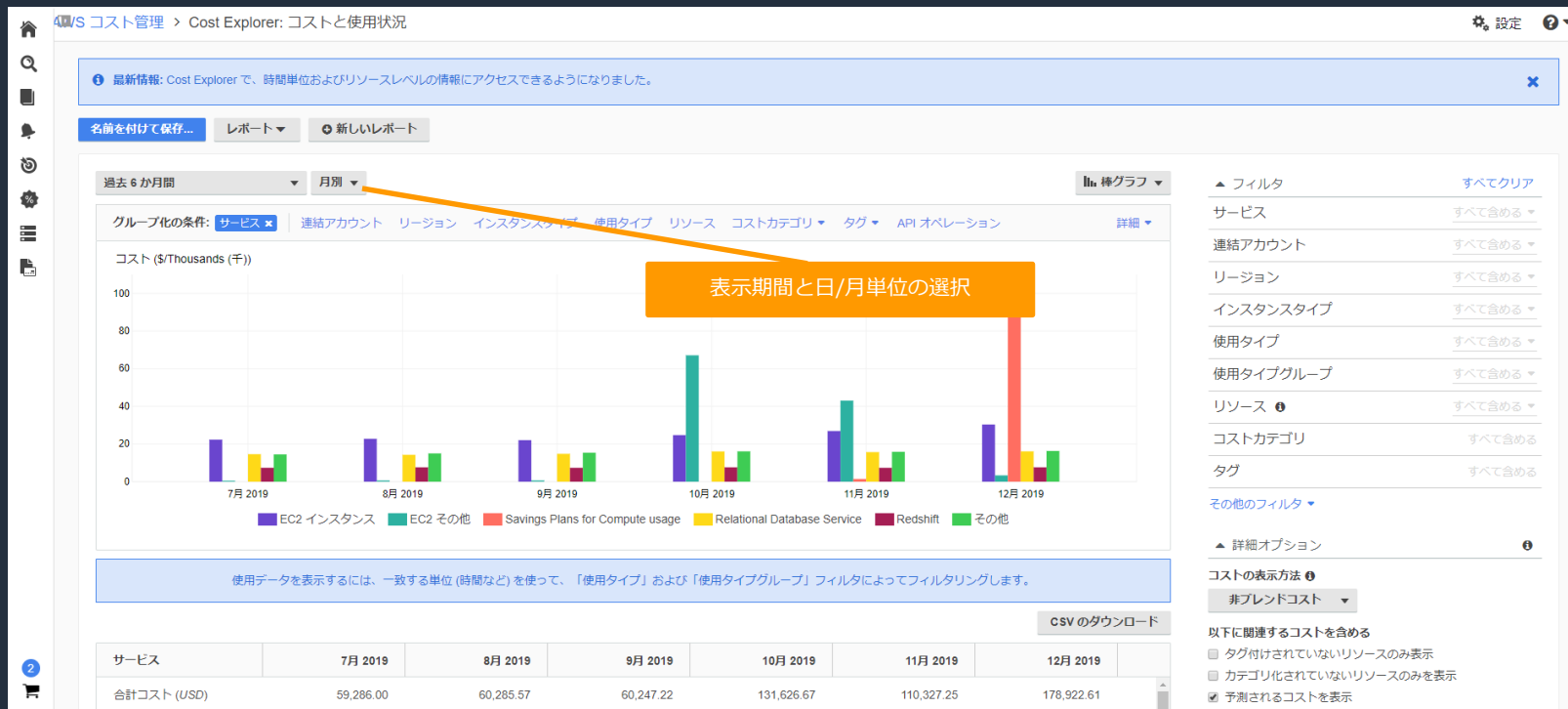
非フレンドコスト

以下に関連するコストを含める

- タグ付けされていないリソースのみ表示
- カテゴリ化されていないリソースのみを表示
- 予測されるコストを表示

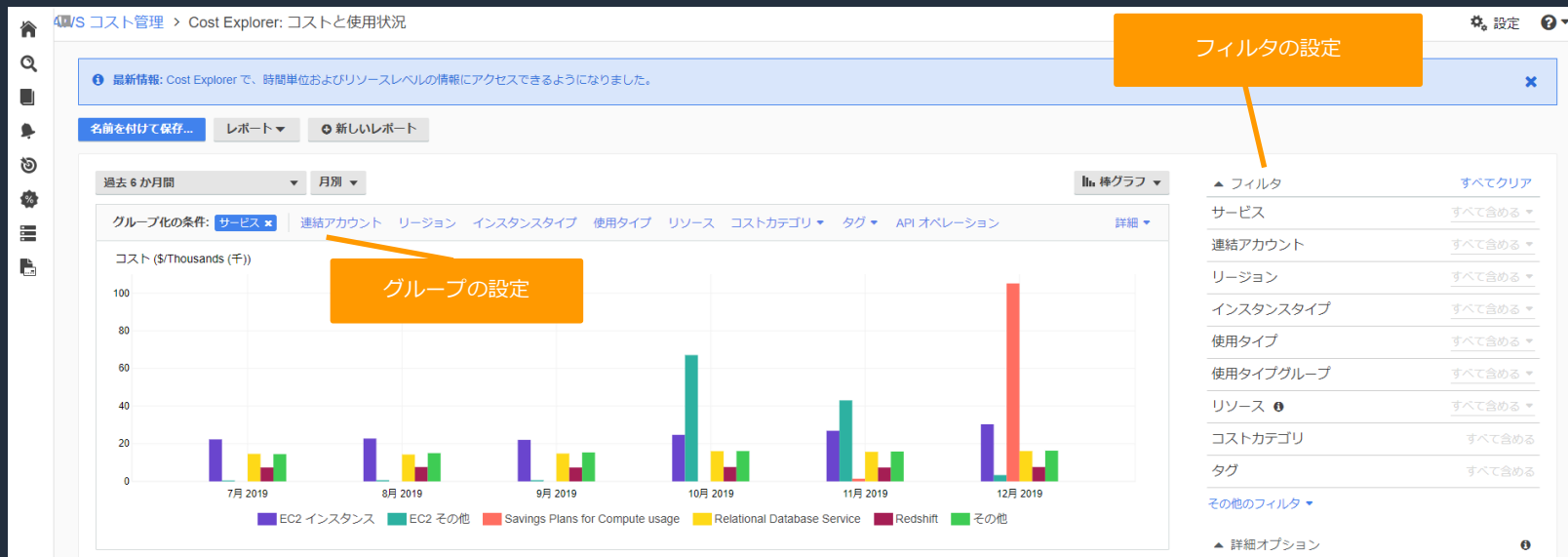
# Cost Explorerの機能

## カスタマイズ機能(表示期間のアレンジ)



# Cost Explorerの機能

## カスタマイズ機能(フィルタ/グループ化)



AのB毎の料金を確認したい(例：EC2の連結アカウント毎の料金を確認したい)

A(EC2)：フィルタで設定

B(連結アカウント)：グループで設定

# Cost Explorerの機能

## フィルタ/グループ設定

項目	詳細
サービス	AWSサービス製品
連結アカウント	メンバーアカウント
リージョン	リージョン
インスタンスタイプ	インスタンスタイプ
使用タイプ	利用タイプ
使用タイプグループ	利用タイプグループ(EC2, DynamoDB, Amazon S3, ElastiCache, Elasticsearch, Redshift, RDS)
リソース	リソース(「設定」ページによる有効化が必要)
タグ	タグ
API オペレーション	APIオペレーション
料金タイプ	詳細は次のスライド
アベイラビリティゾーン	アベイラビリティゾーン
プラットフォーム	EC2のプラットフォーム
購入オプション	購入タイプ(リザーブド、オンデマンド、スポット等)
テナンシー	EC2のテナンシー
データベースエンジン	RDSのデータベースエンジン
法務エンティティ	法人区分
請求エンティティ	請求区分(AWS, Marketplace)

# Cost Explorerの機能

## フィルタ/グループ設定(料金タイプ)

項目	詳細	
使用量	RI/Savings Plansが適用されなかった使用量に対する料金	一般的な料金
クレジット	適用されたクレジット額	
サポート料金	有償サポート料金	
払い戻し	返金された料金	
税金	税額	
前払いの予約料金	RIの前払い料金	RIに関する料金
定期的な予約料金	RIの月額固定料金	
適用された予約の使用	RIが適用された使用量に対する料金	
Savings Planの前払い料金	Savings Plansの前払い料金	Savings Plansに関する料金
Savings Planの取り消し	Savings Plansにより割引かれた料金	
Savings Planの定期料金	Savings Plansの月額固定料金	
Savings Planの対象使用量	Savings Plansが適用された使用量に対する料金	

# 主な既存構成レポート



# 主な既存構成レポート

The screenshot shows the AWS Cost Explorer interface. At the top, there are buttons for '名前を付けて保存...' (Save with name...), 'レポート▼' (Reports), and '+ 新しいレポート' (New report). Below this, there are tabs for '過去 6 か月間' (Last 6 months) and 'グループ化の条件:' (Grouping conditions). A chart area on the left shows 'コスト (\$)' (Cost in \$) with a y-axis ranging from 0 to 500. A dropdown menu is open, listing various report options:

- コストと使用状況レポート
- Monthly costs by service
- Monthly costs by linked account
- Monthly EC2 running hours costs and usage
- Daily costs
- AWS Marketplace
- 予約レポート
- RI Utilization
- RI Coverage
- Savings Plansのレポート
- Utilization report
- Coverage report
- ユーザー定義のレポート

- **Monthly costs by service**  
サービスごとの月別使用料
- **Monthly costs by linked account**  
連結アカウントごとの月別使用料
- **Monthly EC2 running hours cost & usage**  
毎月のEC2実行時間のコストと使用状況

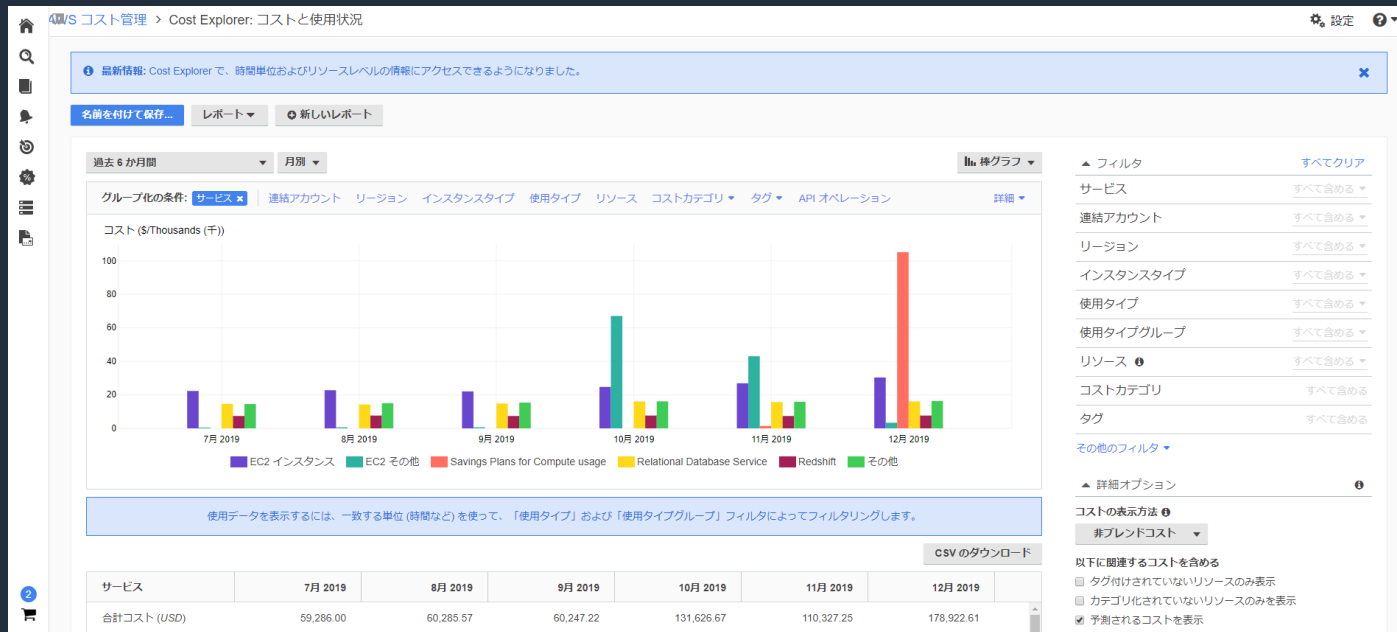
- **RI Utilization**  
(EC2, RDS, Redshift, ElastiCache, Elasticsearch Service)  
RIの使用状況  
- 無駄なくRIが適用されているか確認可能
- **RI Coverage**  
(EC2, RDS, Redshift, ElastiCache, Elasticsearch Service)  
稼働インスタンスにおけるRIのカバー率状況

- **Utilization report**  
Savings Plansの使用状況  
- 無駄なくSavings Plansが適用されているか確認可能
- **Coverage report**  
稼働インスタンスにおけるSavings Plansのカバー率状況

# 主な既存構成レポート

## Monthly costs by service

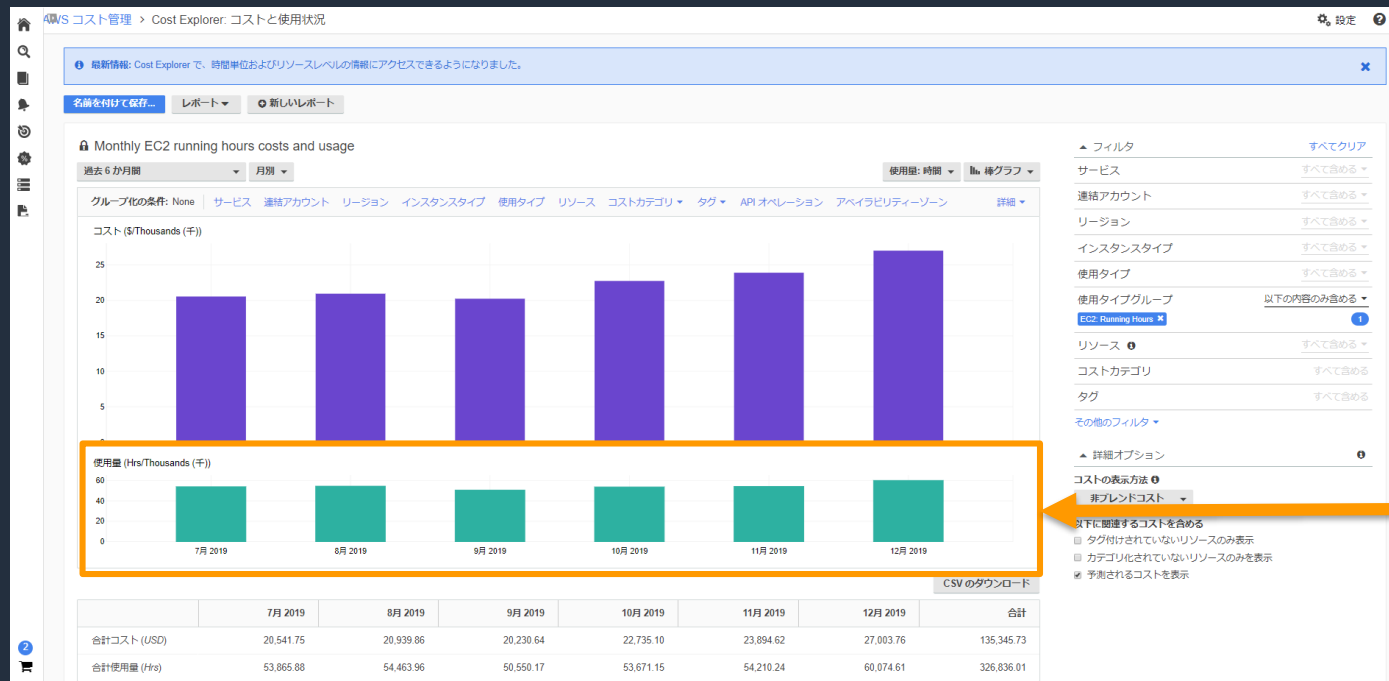
サービスごとの月別使用料が確認可能



# 主な既存構成レポート

## Monthly EC2 running hours costs and usage

毎月のEC2実行時間のコストと使用状況が確認可能



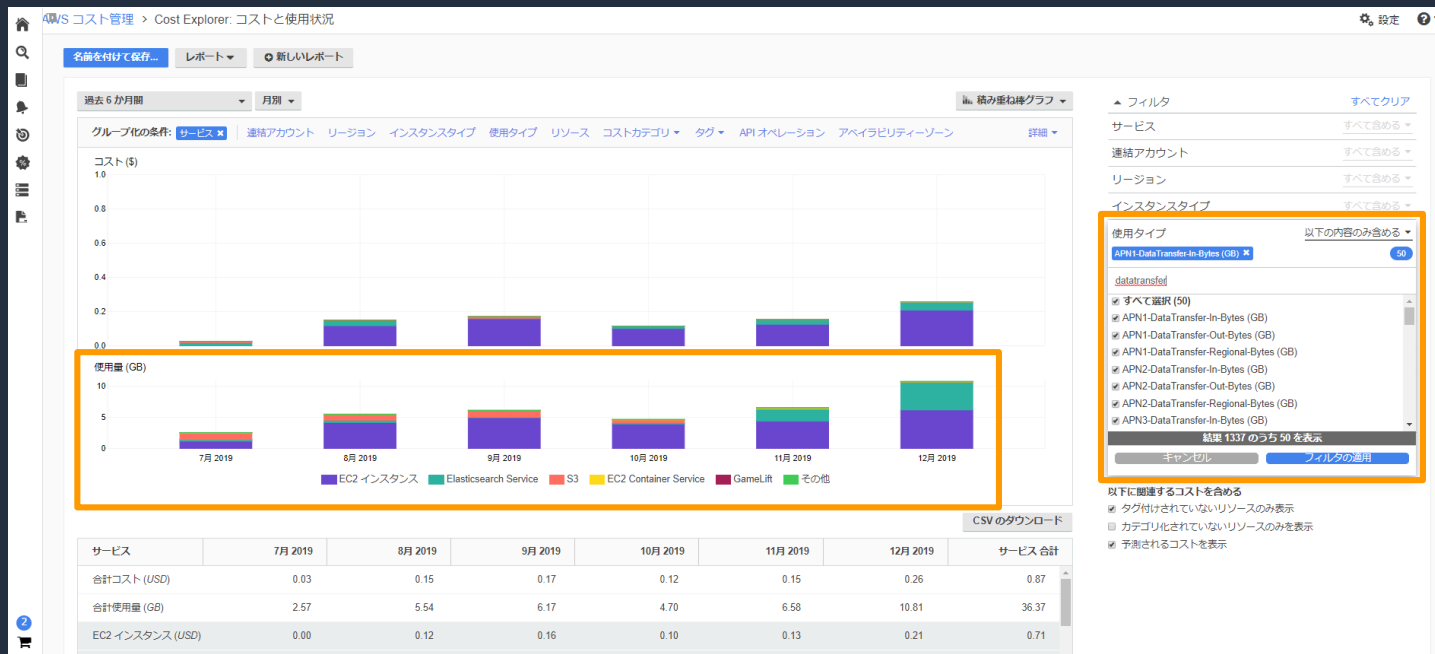
使用量も  
確認可能

# 主な既存構成レポート

## (補足)使用量の表示について

“使用タイプ”または“使用タイプグループ”の選択によって、

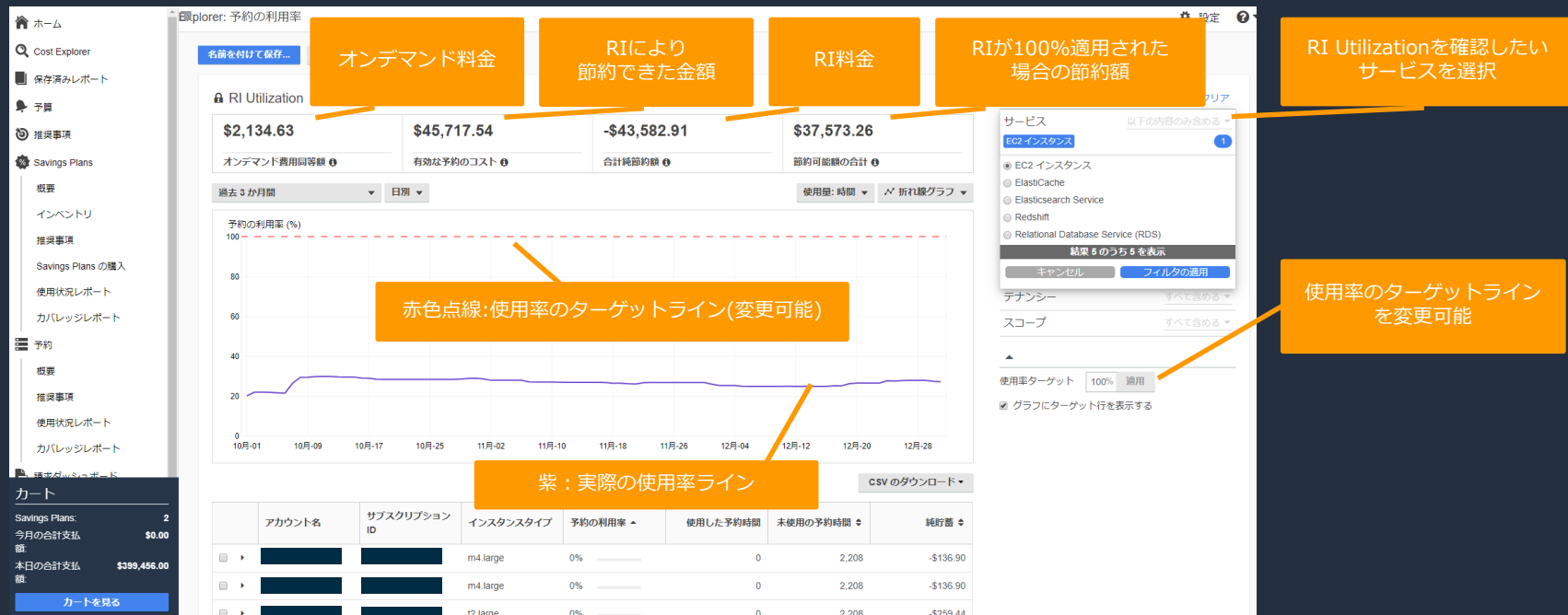
EC2 running hours以外の項目の使用量も確認可能



# 主な既存構成レポート

## RI Utilization

RIの使用状況(無駄なくRIが適用されているか)を確認可能



オンデマンド料金

RIにより節約できた金額

RI料金

RIが100%適用された場合の節約額

RI Utilizationを確認したいサービスを選択

赤色点線:使用率のターゲットライン(変更可能)

使用率のターゲットラインを変更可能

紫: 実際の使用率ライン

# 主な既存構成レポート

## RI Utilization

RIの詳細な情報も確認可能

アカウント名	サブスクリプションID	インスタンスタイプ	予約の利用率	使用した予約時間	未使用の予約時間	純貯蓄
[Redacted]	[Redacted]	M4	100%	363	0	\$0.00
[Redacted]	[Redacted]	R3	100%	410	0	\$0.00

アカウントID	[Redacted]
開始日	2019-10-18T02:48:48.000Z
終了日	2019-10-18T02:48:48.000Z
RI数	1
スコープ	Availability Zone
リージョン	us-east-1
アベイラビリティゾーン	us-east-1
プラットフォーム	Unknown
テナンシー	Shared
支払いオプション	PartialUpfront
オフリングタイプ	Standard
予約ID	[Redacted]
購入した予約時間	410
借却前払い料金	\$0.00
借却定期料金	\$0.00
有効な予約のコスト	\$0.00
オンデマンド費用同等額	\$0.00
<b>節約可能額</b>	<b>\$0.00</b>
1時間あたりの平均オンデマンド料金	0.0
総資産価値	\$0.00
有効な1時間あたりの料金	\$0.00
前払い料金	\$6,941.00
時間ごとの定期料金	\$0.79
未使用の時間のコスト	\$0.00

オンデマンド料金と比べた  
RIによる節約額

- ・ 上部のチャートデータ(前スライド)および
- ・ 下部のテーブルデータ (RIの詳細を含む) をCSVでダウンロード可能

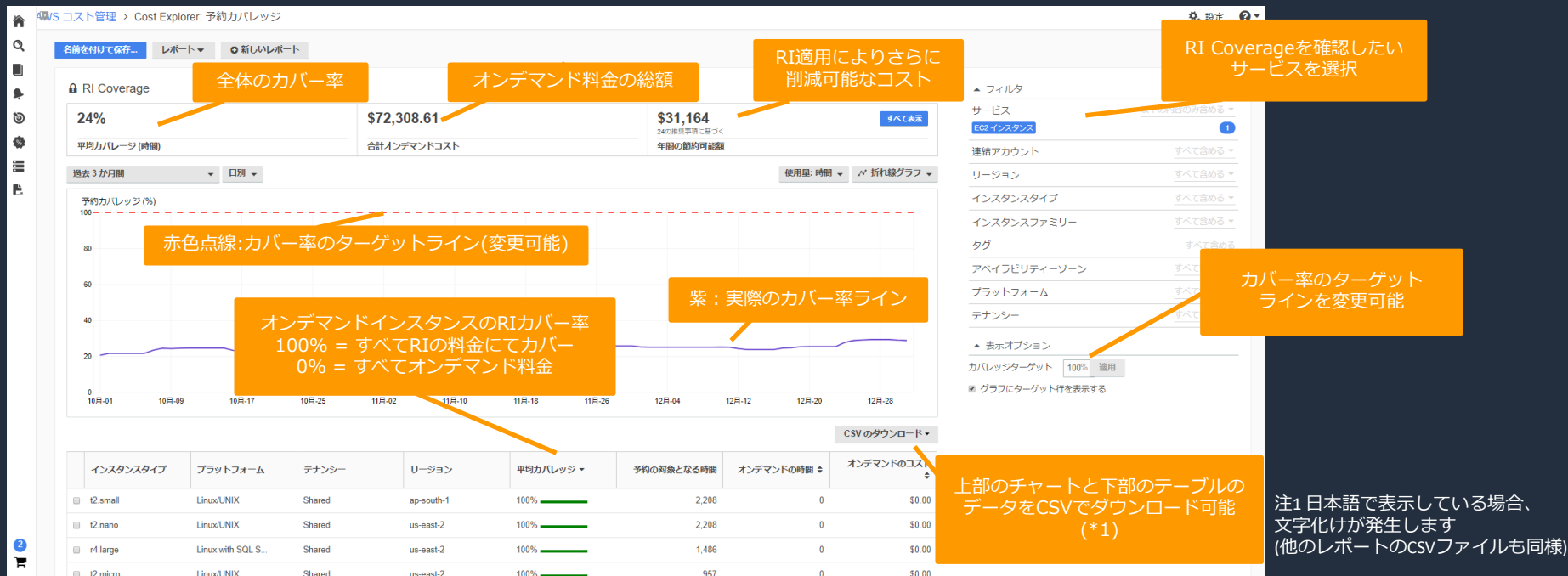
保有RIの詳細情報は  
RIマネジメントコンソールだけでなく  
Cost Explorerでも確認可能！  
(親アカウントからは、連結アカウントで  
保有のRI情報も確認可能)



# 主な既存構成レポート

## RI Coverage

稼働インスタンスにおけるRIのカバー率状況が確認可能



注1 日本語で表示している場合、文字化けが発生します (他のレポートのcsvファイルも同様)

# (補足)RI UtilizationとRI Coverageの違い

## RI Utilization

RI自体の使用状況(適用率)を確認可能  
稼働インスタンス/RI( $\leq 100\%$ )

## RI Coverage

全体の稼働インスタンスに対し、RIがどれだけ適用されたか(カバーされたか)を確認可能  
RI/稼働インスタンス( $\leq 100\%$ )



## 例

- ・稼働(オンデマンド)インスタンス : t2.micro 2台
- ・RI : t2.micro 1台

を持ち、RI 1台は正常に適用された場合のUtilization/Coverageは以下となります。

- ・ Utilization :  $100\%$ (  $1 / 1 = 100\%$  )
- ・ Coverage :  $50\%$ (  $1 / 2 = 50\%$  )

**Utilization:購入済のRI使用状況の確認**  
**Coverage:アカウント(組織)全体のRIによる節約状況の確認**

注1 Organizationsの場合、RI共有機能により他のアカウントに適用された場合も、適用率に反映されず



# 推獎事項

# 推奨事項

## 2種類のコスト最適化提案を確認できます

### ① リソース最適化の推奨    ② 予約購入の推奨事項

潜在的なリソースの節約

**\$7,345**  
55 リソースに基づいて毎月の削減額

潜在的な予約の節約

**\$6,126**  
43 予約に基づいて毎月の削減額

リソース最適化の推奨 すべて表示

最終更新日: 2020-01-07 7:28 午後

EC2 サイズ設定機会が **55** 個見つかりました  
アクションをとることにより、推定月額 \$7,345 を削減できる可能性があります

アイドル状態のインスタンスが **12** 個検出されました  
これらのインスタンスを終了すると、推定月額 \$6,019 を節約できる可能性があります  
十分に活用されていないインスタンスが **43** 個検出されました  
これらのインスタンスを修正すると、推定月額 \$2,265 を節約できる可能性があります

予約購入の推奨事項 すべて表示

サービス	購入の推奨事項	推定月別削減額
EC2	24	\$2,597.01
RDS	9	\$434.40
ElastiCache	2	\$539.20
Redshift	2	\$1,582.14
Elasticsearch	6	\$973.64

\* 推定削減額とサイズ最適化に関する情報は、過去の使用履歴、予約、関連する EC2 の料金に基づいています。ご利用パターンを変更し、予約が期間切れになるまたは間もなく期間切れになる場合、推定削減額の正確性に影響を与える可能性があります。  
\*\* 推定年間節約額および購入の推奨事項には課金の使用履歴と、関連する EC2、RDS、ElastiCache、Redshift または Elasticsearch の料金に基づいています。ご利用パターンが変わると、推定額の正確性が影響を受ける可能性があります。  
\*\*\* 削減額を最大化するために、サイズの最適な 40 の対象となる EC2 インスタンスファミリーに属するオンデマンドインスタンスを自動的に検出し、分析し、そのインスタンスファミリーで利用できる最もインスタンスサイズの購入推奨事項として表示します。詳細はこちら  
\*\*\*\* RDS の Oracle データベースエンジンに関する RDS の推奨事項については、Goal Explorer はそのデータベースエンジンに対するすべてのデータベースオプションライセンスモデルを比較して、関連するコストおよび使用状況を表示することに特化しています。

# 推奨事項

## リソース最適化の推奨(\*1)

## EC2リソースのコスト最適化提案を確認できます

The screenshot displays the AWS Cost Management console interface. At the top, the breadcrumb navigation shows 'AWS コスト管理 > 推奨事項'. The main content area is divided into several sections:

- 潜在的なリソースの節約**: Shows a potential saving of \$7,345 based on 65 EC2 instances.
- 潜在的な予約の節約**: Shows a potential saving of \$6,126 based on 43 reservations.
- リソース最適化の推奨**: A central section with a red border containing two key messages:
  - EC2 サイズ設定機会が 65 個見つかりました**: Action taken can reduce the monthly bill by \$7,345.
  - アイドル状態のインスタンスが 12 個検出されました**: Terminating these instances can save \$6,079.
  - 十分に活用されていないインスタンスが 43 個検出されました**: Right-sizing these instances can save \$2,265.
- 予約購入の推奨事項**: A table listing services and their associated savings opportunities.

サービス	購入の推奨事項	推定月別削減額
EC2	24	\$2,597.01
RDS	9	\$434.40
ElastiCache	2	\$539.20
Redshift	2	\$1,582.14
Elasticsearch	6	\$973.64

Footnote: \*1 推定削減額とサイズ最適化に関する推奨は、過去の使用履歴、予約、関連する EC2 の料金に基づいています。ご利用パターンを変更し、予約が期限切れになるまたは何もなく期限切れになる場合、推定削減額の正確性に影響を与える可能性があります。

注1 画面右上の「設定」から有効化を行なう必要があります  
注2 連結アカウント側でも表示できます(設定方法は後ほど説明します)

# 推奨事項

## 予約購入の推奨事項

RIによるコスト最適化の推奨を確認できます

潜在的なリソースの節約

\$7,345  
55 リソースに基づいて毎月の削減額

潜在的な予約の節約

\$6,126  
43 予約に基づいて毎月の削減額

リソース最適化の推奨

最終更新日: 2020-01-07 7:28午後

すべて表示

EC2 サイズ設定機会が **65** 個見つかりました  
アクションをとることにより、推定月額 \$7,345 を削減できる可能性があります

アイドル状態のインスタンスが **12** 個検出されました  
これらのインスタンスを終了すると、推定月額 \$6,079 を節約できる可能性があります

十分に活用されていないインスタンスが **43** 個検出されました  
これらのインスタンスを修正すると、推定月額 \$2,265 を節約できる可能性があります

予約購入の推奨事項

すべて表示

サービス	購入の推奨事項	推定月別削減額
EC2	24	\$2,597.01
RDS	9	\$434.40
ElastiCache	2	\$539.20
Redshift	2	\$1,582.14
Elasticsearch	6	\$973.64

\* 推定削減額とサイズ最適化に関する推奨は、過去の使用履歴、予約、関連する EC2 の料金に基づいています。ご利用パターンを変更し、予約が期限切れになるまたは期間切れになる場合、推定削減額の正確性に影響を与える可能性があります。

\*\* 推定年間節約額および購入の推奨事項は過去の使用履歴と、関連する EC2、RDS、ElastiCache、Redshift または Elasticsearch の料金に基づいています。ご利用パターンが変わると、推定額の正確性や購入推奨事項が影響を受ける可能性があります。

\*\*\* 削減額を最大化するために、サイズが異なる中、削減となるインスタンスタイプを選択する必要がある場合があります。詳細については、AWS のドキュメントを参照してください。

\*\*\*\* SQL や Oracle データベースエンジンに関する RDS の推奨事項については、Cost Explorer はそのデータベースエンジンのすべてのデータベースエディションやライセンスモデルを調べて、関連するコストおよび使用状況を表示することにご注意ください。

# 推奨事項

## 予約購入の推奨事項<sup>(\*1,2,3)</sup>

RIによるコスト最適化の推奨を確認できます

AWS コスト管理 > 推奨事項 > 予約に関する推奨事項

**\$31,164** 推定年間節約額  
**28%** オンデマンドに対する節約率  
**24** 購入の推奨事項

直近 30 日間の EC2 の使用状況に基づいて、24 one-year, all-upfront, standard RI purchase recommendations を特定し、\$31,164 年間の予測節約額を算出しました。オンデマンドコストと比較して 28% の節約に及びます。これらの推奨事項に基づいてアクションを取ることができます。EC2 予約購入コンソール。

以下に基づいて推奨事項を生成します。  
すべてのアカウント 個々のアカウント

次の条件で並べ替え:  
1 か月あたりの推定前減額 CSV のダウンロード

購入の推奨事項 (24)	詳細
<b>48 r5d.large リザーブド インスタンス を購入</b> <small>サイズ変更</small> Asia Pacific (Tokyo)   Linux/UNIX   Shared 過去の 30 日間のオンデマンドの使用量に基づき、r5d の予約使用で 1 時間当たり 192 の正規化された単位をカバーする 48x r5d.large のリザーブド インスタンスを購入し節約を最大化することが推奨されます。 <a href="#">関連する EC2 の使用量の表示</a>	<b>\$1,673.441</b> か月あたりの削減額 前払いコスト: \$43,632.00 1 か月あたりの定期的なコスト: \$0.00 期待される RI 使用率: 87%
<b>8 c3.large リザーブド インスタンス を購入</b> <small>サイズ変更</small> Asia Pacific (Tokyo)   Linux/UNIX   Shared 過去の 30 日間のオンデマンドの使用量に基づき、c3 の予約使用で 1 時間当たり 32 の正規化された単位をカバーする 8x c3.large のリザーブド インスタンスを購入し節約を最大化することが推奨されます。 <a href="#">関連する EC2 の使用量の表示</a>	<b>\$244.481</b> か月あたりの削減額 前払いコスト: \$6,024.00 1 か月あたりの定期的なコスト: \$0.00 期待される RI 使用率: 100%
<b>4 m4.large リザーブド インスタンス を購入</b> <small>サイズ変更</small> Asia Pacific (Sydney)   Linux/UNIX   Shared 過去の 30 日間のオンデマンドの使用量に基づき、m4 の予約使用で 1 時間当たり 16 の正規化された単位をカバーする 4x m4.large のリザーブド インスタンスを購入し節約を最大化することが推奨されます。 <a href="#">関連する EC2 の使用量の表示</a>	<b>\$135.491</b> か月あたりの削減額 前払いコスト: \$2,748.00 1 か月あたりの定期的なコスト: \$0.00 期待される RI 使用率: 100%
<b>1 t3.xlarge リザーブド インスタンス を購入</b> Asia Pacific (Tokyo)   Windows with SQL Server Standard   Shared 過去の 30 日間のオンデマンドの使用量に基づき、1 t3.xlarge のリザーブド インスタンスを購入することが推奨されます。 <a href="#">関連する EC2 の使用量の表示</a>	<b>\$113.551</b> か月あたりの削減額 前払いコスト: \$12,130.00 1 か月あたりの定期的なコスト: \$0.00 期待される RI 使用率: 100%
<b>1 r4.xlarge リザーブド インスタンス を購入</b> Asia Pacific (Tokyo)   Linux with SQL Server Standard   Shared 過去の 30 日間のオンデマンドの使用量に基づき、1 r4.xlarge のリザーブド インスタンスを購入することが推奨されます。 <a href="#">関連する EC2 の使用量の表示</a>	<b>\$95.441</b> か月あたりの削減額 前払いコスト: \$5,853.00 1 か月あたりの定期的なコスト: \$0.00 期待される RI 使用率: 100%

推奨タイプの選択  
Elastic Compute Cloud (EC2)

RI 推奨事項パラメータ  
RI 期間  
● 1 年間  
● 3 年間  
● 5 年間  
支払オプション  
● 全額前払い  
● 一部前払い  
● 前払いなし  
基準とする直近の期間  
● 7 日間  
● 30 日間  
● 60 日間

追加フィルタ  
連結アカウント

希望するオプションに応じた推奨事項を確認可能



注1 連結アカウント側でも表示できます(設定方法は後ほど説明します)

注2 RI柔軟性を考慮し、同インスタンスファミリー内の一番小さいサイズを提案する場合があります

注3 直前に購入したRIは反映されていない場合があります

# Savings Plans

# おさらい – Savings Plans とは

Amazon EC2・AWS Fargateの**定常的な利用**を  
1年間または3年間**利用コミット契約**することで、  
“最大”72%のコスト削減ができる**割引プラン**

従来の「リザーブドインスタンス(RI)」をより柔軟に発展させ、  
より多くのお客様に、より多くの利用シーンでのコスト削減を実現  
合わせて**RI管理や運用に関する負荷も軽減出来ます**

# おさらい – Savings Plans とは

Amazon EC2の**定常的な利用**を  
1年間または3年間**利用コミット契約**することで、  
“最大”72%のコスト削減ができる**割引プラン**

- **定常的な利用** → 例えば「1時間あたり\$10」などの形式で、時間あたりの最低ご利用分の金額(以下、コミット金額)を指定
- **コミット契約** → 1年間または3年間の利用のお約束  
万が一、ご利用が少なかった場合もコミット金額を請求
- **新割引プラン** → 長期利用コミットにより割引を受けられる  
従来のリザーブドインスタンス(RI)をより柔軟にしたもの



# おさらい – Savings Plans とは

## Savings Plansの2タイプの比較

より柔軟な  
Compute Savings Plans

より割引率の高い  
EC2 Instance Savings Plans

コミット  
対象

全リージョン<sup>(\*1)</sup>の  
EC2およびFargateの 時間あたりの  
利用金額<sup>(\*2)</sup>

各リージョンのインスタンスファミ  
リーごとの EC2の 時間あたりの利用金  
額<sup>(\*2)</sup>

割引率

”最大”66%<sup>(\*3)</sup>引き (従来のコンバーチブ  
ルRIと同様<sup>(\*4)</sup>)

”最大”72%<sup>(\*3)</sup>引き (従来のスタンダード  
RIと同様<sup>(\*4)</sup>)

注1 中国リージョンと大阪ローカルリージョンは除く

注2 それぞれの時間課金部分が対象(EBSやEIPなどは含まれない)

注3 リージョン、インスタンスタイプ、OSなどの条件により、実際の割引率は異なる

注4 SUSE Linux Enterprise ServerのみRIと割引率が異なる

# Savings Plans

## Savings Plans の購入(Compute Savings Plans)

### 購入時に決定すべきことは4つ

AWS コスト管理 > Savings Plans > Savings Plans の購入

購入の詳細

↓ ① Savings Plans タイプ

Savings Plans は 1 年または 3 年契約の安定した使用量 (USD/時間) のコミットメントで、EC2 および Fargate のご利用料金を低く抑えることができる柔軟な料金モデルです。

**Savings Plan タイプ**

- Compute Savings Plans  
リージョン、インスタンスファミリー、サイズ、テナンシー、オペレーティングシステムに関係なく、EC2 および Fargate の使用に適用されます。 [詳細はこちら](#)
- EC2 Instance Savings Plans  
サイズ、テナンシー、オペレーティングシステムに関係なく、コミットされた EC2 ファミリーおよびリージョン内のインスタンスの使用量に適用されます。 [詳細はこちら](#)

**② 契約期間**

期間

- 1 年
- 3 年

Savings Plans の適用料金については、[こちら](#)をご覧ください。

**③ コミット金額**

購入コミットメント

時間単位のコミットメント

\$

詳細な購入オプションは、[こちら](#)をご覧ください。

**④ 支払いオプション(支払い方法)**

支払いオプション

- 金額前払い
- 一部前払い
- 前払いなし

前払いコスト	毎月の定額料金	1年間のコミットメント合計
-	-	-

[カートに追加](#)

# Savings Plans

## Savings Plans の購入(EC2 Instance Savings Plans)

前ページの4項目に加え、「リージョン」と「インスタンスファミリー」を指定

The screenshot shows the AWS console page for purchasing Savings Plans. The breadcrumb trail is "AWS コスト管理 > Savings Plans > Savings Plans の購入". The page title is "購入の詳細".

Below the title, there is a description: "Savings Plans は 1 年または 3 年契約の安定した使用量 (USD/時間) のコミットメントで、EC2 および Fargate のご利用料金を低く抑えることができる柔軟な料金モデルです。"

The "Savings Plan タイプ" section has two options:

- Compute Savings Plans  
リージョン、インスタンスファミリー、サイズ、テナンシー、オペレーティングシステムに関係なく、EC2 および Fargate の使用に適用されます。 [詳細はこちら](#)
- EC2 Instance Savings Plans  
サイズ、テナンシー、オペレーティングシステムに関係なく、コミットされた EC2 ファミリーおよびリージョン内のインスタンスの使用量に適用されます。 [詳細はこちら](#)

The "期間" section has two options:

- 1-年
- 3-年

The "リージョン" dropdown menu is highlighted with an orange box and labeled "⑤コミット対象リージョン". The selected value is "US East (N. Virginia)".

The "インスタンスファミリー" dropdown menu is highlighted with an orange box and labeled "⑥コミット対象インスタンスファミリー". The selected value is "インスタンスファミリーを選択".

Below these dropdowns, there is a note: "Savings Plans の適用料金については、こちらをご覧ください。"

The "購入コミットメント" section includes:

- "時間単位のコミットメント" input field with a value of "\$".
- A note: "節約額を最大化するには、[推奨事項](#)をご覧ください。"
- "支払いオプション" section with three radio buttons:
  - 全額前払い
  - 一部前払い
  - 前払いなし

At the bottom, there is a summary table:

前払いコスト	毎月の定額料金	1年間のコミットメント合計
-	-	-

At the bottom right, there is a "カートに追加" button.

# Savings Plans

## 購入の推奨事項<sup>(\*1)</sup>

Savings Plansによるコスト最適化提案を確認できます

AWS コスト管理 > Savings Plans > 購入の推奨事項

推奨事項オプション ← **希望するオプションに応じた推奨事項を確認可能**

- Savings Plans タイプ
  - コンピューティング
  - EC2 インスタンス
- Savings Plans 期間
  - 1 年間
  - 3 年間
- 支払いオプション
  - 全前払い
  - 一部前払い
  - 前払いなし
- 基準とする直近の期間
  - 7 日間
  - 30 日間
  - 60 日間

推奨事項: \$20.00/時間のコミットメントでコンピューティング Savings Plan を購入

推奨事項 コンピューティング Savings Plan を購入すると、毎月推定 \$5,898 を削減できます。

直近 30 日間の使用状況に基づいて、1年間で \$20.00/時間のコミットメントの Savings Plans の購入をお勧めします。このコミットメントでは、オンデマンドと比較して平均 \$8.08/時間 (27%) を節約できると予測しています。節約額を最大にするため、多様な使用パターンを考慮して、節約額を最大にするためオンデマンド支出額の平均 \$2.29/時間を残すこともお勧めします。

推奨事項を購入する前	推奨事項を購入した後 (直近 30 日間の使用量に基づく)	
月別オンデマンド使用量	推定月別支出額	推定月別削減額
\$22,170 (\$30.37/時間) 過去 30 日間の使用状況に基づく月別オンデマンド使用量 (すべてのアクティブな Savings Plans を含む)	\$16,272 (\$22.29/時間) 推奨される \$20.00/時間の Savings Plans コミットメントとオンデマンド支出額の平均 \$2.29/時間	\$5,898 (\$8.08/時間) オンデマンドに対して毎月 27% の削減 \$22,170 - \$16,272 = \$5,898

この推奨事項では、直近 30 日間の使用量 (既存の Savings Plans と EC2 リザーブドインスタンスを含む) を調べた上で、推奨される Savings Plans を購入した場合のコストを計算しています。Savings Plans の適用金については、[こちら](#)をご覧ください。この推奨事項を生成するために、AWS はさまざまなコミットメント額による種別をシミュレートし、推定削減額を最大化するコミットメント額を推奨しています。 [詳細はこちら](#)

推奨される Compute Savings Plans CSV のダウンロード 選択した Savings Plan をカートに追加

× 期間	支払いオプション	推奨コミットメント	1 時間あたりの推定削減額
☑ 1 年間	全前払い	\$20.00/時間	\$8.08 (27%)

\*特定のインスタンスタイプファミリーにおける現在のオンデマンド使用量に基づいた、1 時間あたりの平均使用量と 1 時間あたりの最小使用量。

注1 Organizationsにて、連結アカウント単位の推奨事項は現在確認できません

# Savings Plans

## インベントリ

保有するSavings Plansの情報を確認できます

Savings Plans のアカウントインベントリ

組織全体の情報も確認可能(親アカウントのみ) → [組織インベントリを表示](#)

このページでは、このアカウントが所有する Savings Plans のインベントリを表示しています。

Savings Plans (9) CSV のダウンロード Savings Plan を購入

検索

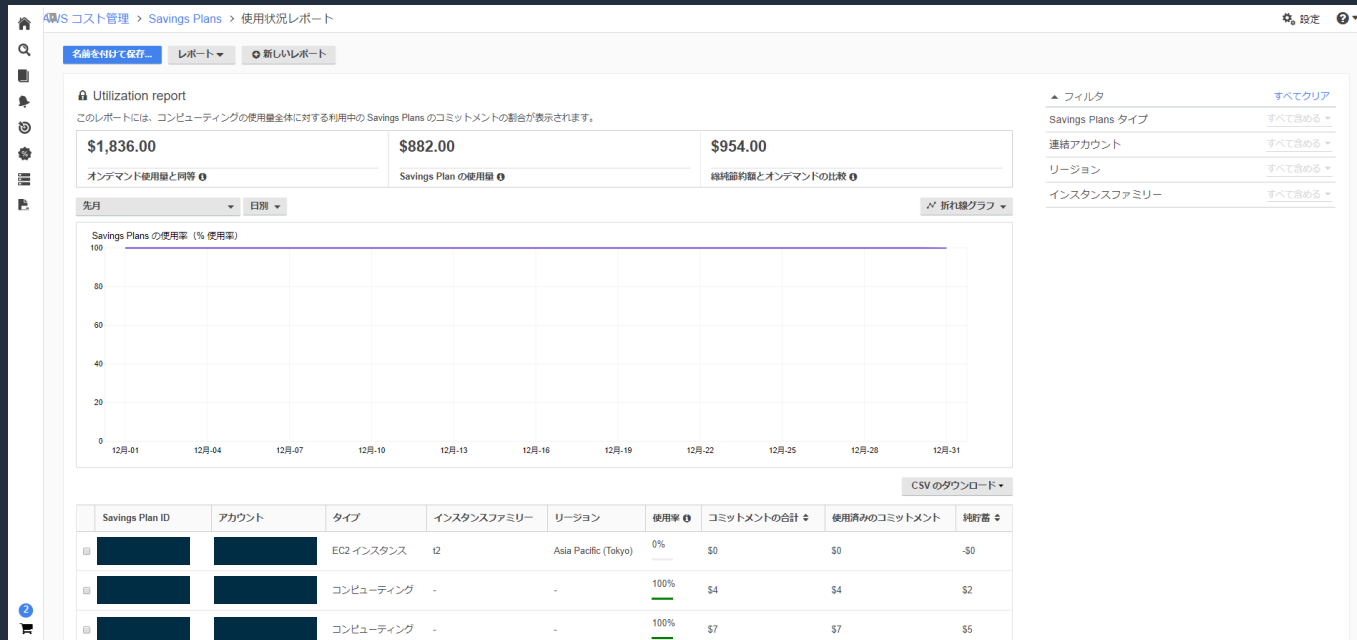
<input type="checkbox"/>	Savings Plan ID	タイプ	インスタンスファミリー	リージョン	コミットメント	ステータス	開始日	終了日
<input type="checkbox"/>	[REDACTED]	Compute	-	-	\$0.020/時間	Active	11/07/2019	11/06/2020
<input type="checkbox"/>	[REDACTED]	EC2 Instance	t2	Asia Pacific (Tokyo)	\$0.005/時間	Active	11/12/2019	11/11/2020
<input type="checkbox"/>	[REDACTED]	Compute	-	-	\$0.005/時間	Active	11/12/2019	11/11/2020
<input type="checkbox"/>	[REDACTED]	Compute	-	-	\$1.000/時間	Active	01/06/2020	01/05/2021
<input type="checkbox"/>	[REDACTED]	EC2 Instance	t2	Asia Pacific (Tokyo)	\$0.010/時間	Active	11/07/2019	11/06/2020
<input type="checkbox"/>	[REDACTED]	EC2 Instance	t2	US West (Oregon)	\$0.011/時間	Active	11/16/2019	11/15/2020
<input type="checkbox"/>	[REDACTED]	Compute	-	-	\$4.000/時間	Active	12/24/2019	12/23/2022
<input type="checkbox"/>	[REDACTED]	Compute	-	-	\$0.010/時間	Active	11/07/2019	11/06/2020
<input type="checkbox"/>	[REDACTED]	EC2 Instance	t2	Asia Pacific (Tokyo)	\$0.105/時間	Active	11/13/2019	11/12/2020

\*Savings Plans のデータが利用可能になるまでに最大で 24 時間かかることがあります。

# Savings Plans

## 使用状況レポート

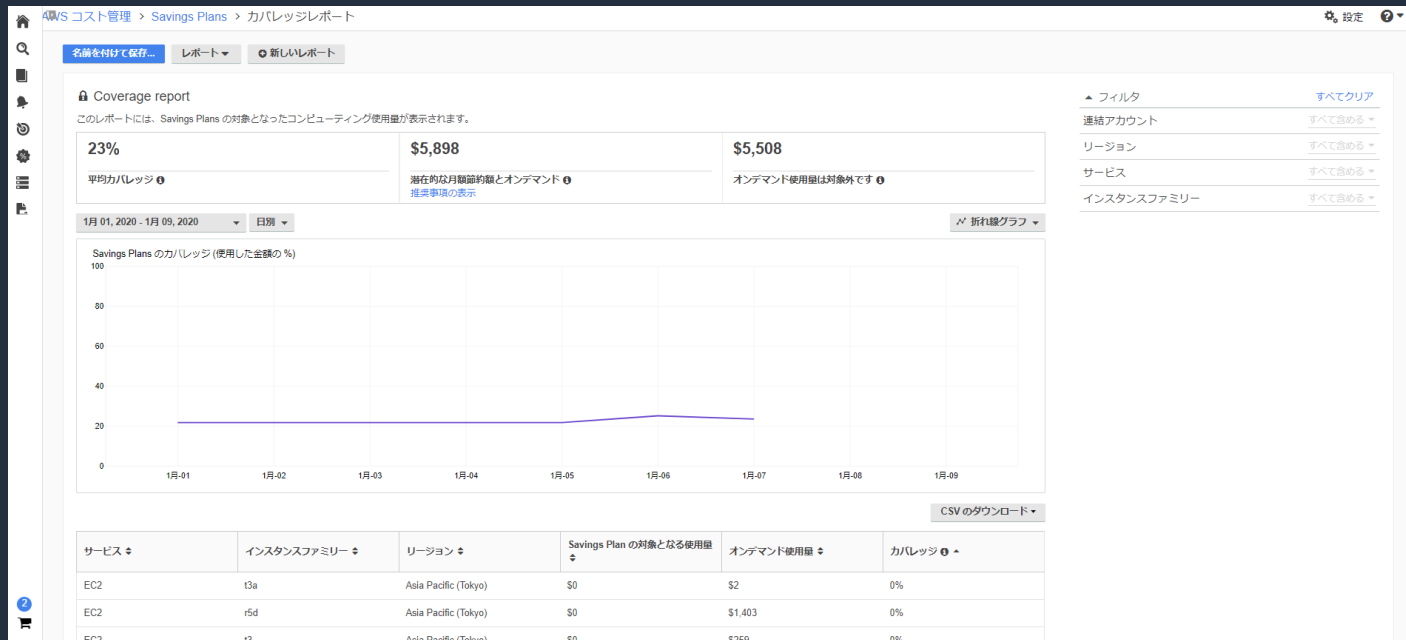
Savings Plansの使用状況(無駄なく適用されているか)を確認可能



# Savings Plans

## カバレッジレポート

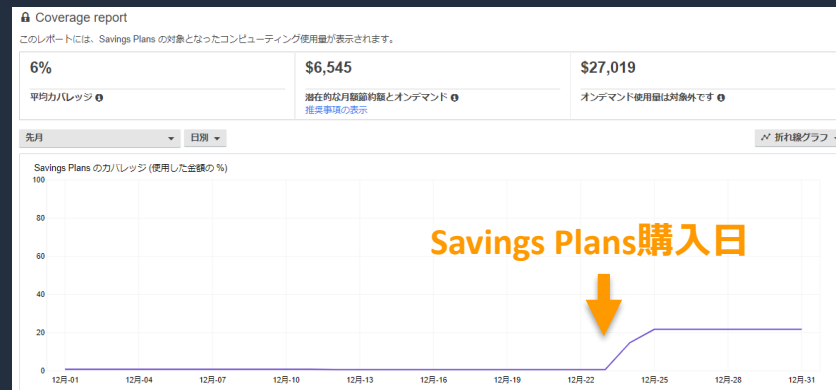
稼働インスタンスにおけるSavings Plansのカバー率状況が確認可能



# (補足)RIとSavings Plansの両方を保有している場合の Coverage Reportについて

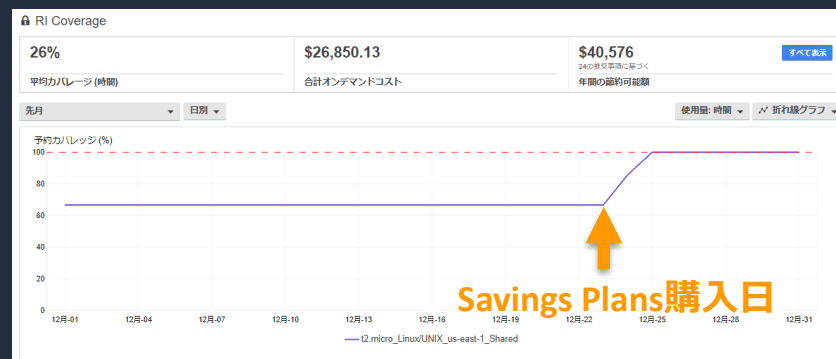
## Savings Plans Coverage Report

- Savings Plansによる割引のみのカバー率を表示します
- Savings Plansの割引/オンデマンド料金



## RI Coverage Report

- Savings Plansによる割引も含んだカバー率を表示します
- (RIの割引 + Savings Plansの割引)/オンデマンド料金





予約

# 予約

## 予約の概要

保有しているRIの情報を確認<sup>(\*1)</sup>

AWS コスト管理 > 予約の概要

全予約 (すべてのサービス) 99  
純節約額 (過去 30 日間) -\$29,257.47  
有効期限が切れる予約 (次の 30 日間) 6 [アラートを管理する](#)

予約インベントリ (99)

サービス	予約の数	有効期限が切れる予約 (次の 30 日間)	純節約額 (過去 30 日間)
Amazon Elastic Compute Cloud - Compute	84	6	-\$17,008.53
Amazon ElastiCache	3	0	-\$21.30
Amazon Redshift	4	0	-\$3,499.10
Amazon Relational Database Service	7	0	-\$8,782.87
Amazon Elasticsearch Service	1	0	\$54.34

推奨されるコスト削減の機会 [すべての推奨事項を表示](#)

サービス	予約カバレッジ (過去 30 日間)	節約可能額
Amazon Elastic Compute Cloud - Compute	27%	\$2,597.01
Amazon ElastiCache	3%	\$539.20
Amazon Redshift	0%	\$1,582.14
Amazon Relational Database Service	34%	\$434.40
Amazon Elasticsearch Service	5%	\$973.64

最近アクセスされた予約レポート [すべてのレポートを表示する](#)



注1 RIの予約購入とは異なります(予約購入は通常のRI購入画面にて可能)

# 予約

## 予約期限切れのアラートを送信する

アラート時から、設定した期限(60日前、30日前、7日前、当日)以内に、有効期限が切れるRIの情報を、Eメールでアラートを受け取れる機能です(最大10メールアドレス)

予約期限切れのアラートを送信する

AWS Cost Explorer には、予約が有効期限に近づいたときに E メール通知を受け取る機能があります。予約期限切れアラートを送信するために、少なくとも 1 つの E メールアドレスの連絡先を提供する必要があります。

予約の期限が切れるときに通知する:

- 有効期限切れの日
- 7 日間で
- 30 日間で
- 60 日間で

Eメールの受信者 (最大数: 10)

[Redacted]	x
[Redacted]	x
[Redacted]	x
[Redacted]	x
[Redacted]	x
[Redacted]	x

Eメールの連絡先を追加する

キャンセル    アラートを削除する    保存



# 設定

# 設定<sup>(\*1)</sup>

- 時間単位とリソースレベルのアクセス有効化<sup>(\*2)</sup>
  - 1時間あたりの料金およびリソース毎の料金を確認できるようになります。
- EC2リソースの推奨事項の有効化
- 連結アカウントの閲覧権限設定(アクセス, 返金とクレジット, 割引, 推奨事項) <sup>(\*3)</sup>



注1 Organizationsの場合、全て親アカウントでのみ設定可能

注2 「0.01 USD / Usage Report 1,000個」の料金が発生

直近14日分のデータのみ閲覧可能

注3 推奨事項で閲覧設定可能なのは、RIとEC2リソースのみ  
Savings Plans推奨事項は現在連結アカウントでの閲覧不可

# ユースケース別のコスト確認方法

# プロジェクト(部門)毎のコストの確認

## タグでグルーピングを行なう

- 前段階として、リソースへのタグの付与およびタグの有効化が必要  
(タグについては、[AWS 初心者向け Webinar ~料金編~ 「タグを使ったコスト管理について」](#)をご参照ください)
- グルーピングで表示する料金は、指定したキー(Key)の値(Value)毎の料金<sup>(\*)</sup>

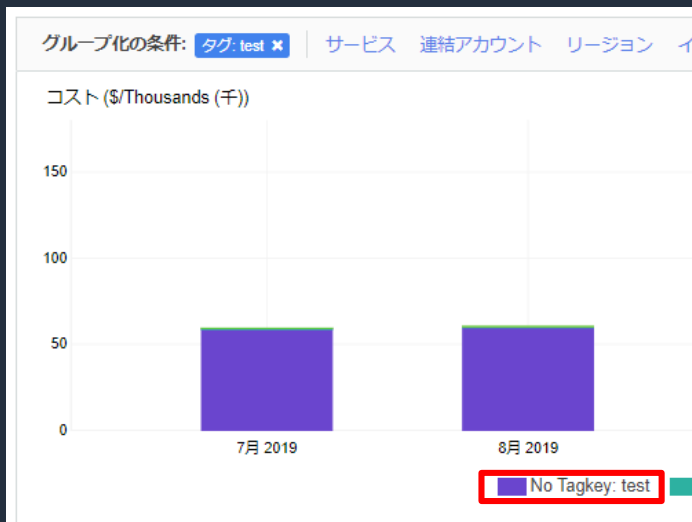


注1 デフォルトで、割引(RIやSPs等)の適用後の税込金額が表示されます

# (補足)No Tagkeyについて

“No Tagkey”には、下記のようなタグでグループ化できないものが含まれます

- タグを付与したサービスが、タグをサポートしていない場合
- 税額
- RI前払い料金といった One Time Fee
- 参照請求期間の一時期または全体にわたってタグを付与していなかった場合





# サービス毎のデータ転送料(Data Transfer)の確認<sup>(\*1)</sup>

## 使用タイプ「Data Transfer」を活用する

Cost Explorerでは、データ転送料が各サービスに含まれるため、「サービス」に「データ転送(Data Transfer)」という項目はありません。

The screenshot shows the AWS Cost Explorer interface. At the top, the breadcrumb is 'AWS コスト管理 > Cost Explorer: コストと使用状況'. Below it, there are buttons for '名前を付けて保存...', 'レポート', and '新しいレポート'. The main area features a bar chart showing costs from July to December 2019. The chart is filtered by 'Resource' (リソース), which is highlighted with a red box and an orange arrow. A text overlay in orange says 'リソース毎のデータ転送料を確認する場合はこちらを選択(\*1)'. On the right, the filter dropdown is open, showing 'APN1-DataTransfer-In-Bytes (GB)' selected, and 'datatransfer' is entered in the search field. An orange arrow points to 'datatransfer' in the dropdown list. Below the dropdown, there are buttons for 'キャンセル' and 'フィルタの適用'.

“datatransfer”と入力し表示される項目でフィルタリング

注1 請求書に記載のデータ転送料と合計値が一致しない場合もございます。参考値としてご利用ください。

注2 時間単位とリソースレベルのアクセスの有効化が必要

# R1が適用されたリソースの確認

## 「時間単位とリソースレベルのアクセス」設定を活用する<sup>(\*)1</sup>

参照可能範囲は直近14日間のため、14日以上データを参照するためには、**コストと使用状況レポート**の検討が必要



料金タイプで  
「適用された予約の使用」  
を選択しフィルタリング

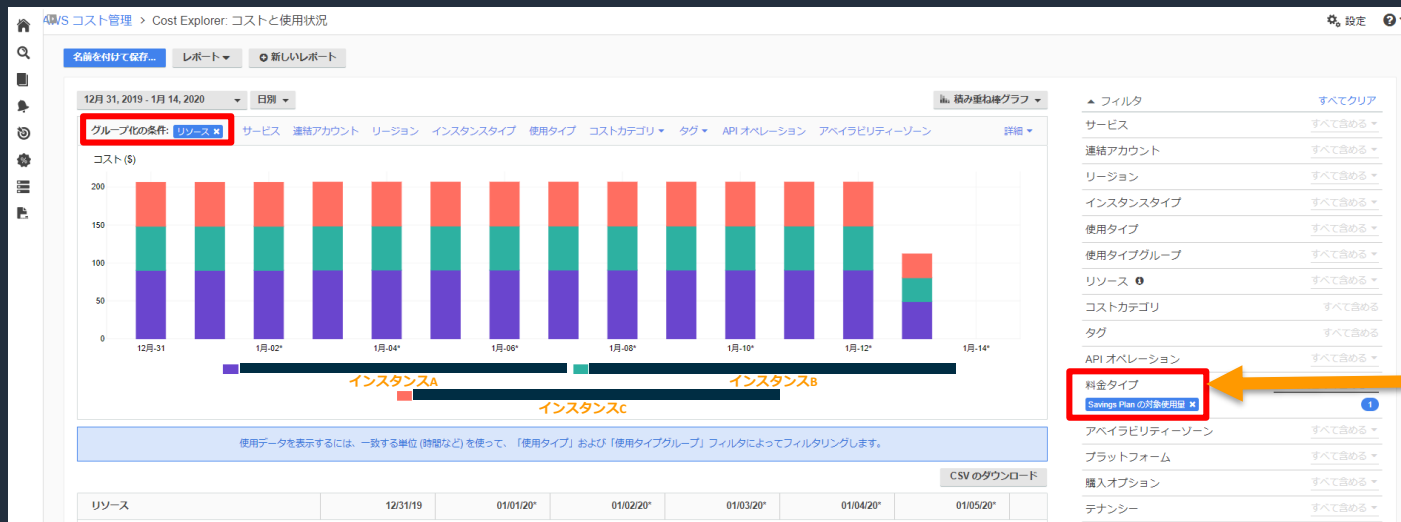
注1 時間単位とリソースレベルのアクセスの有効化が必要

注2 AWS のコストと使用状況レポートには直接の費用は発生しませんが、標準の Amazon S3ストレージ料金が適用されます。

# Savings Plansが適用されたリソースの確認

## 「時間単位とリソースレベルのアクセス」設定を活用する<sup>(\*)1</sup>

参照可能範囲は直近14日間のため、14日以上データを参照するためには、**コストと使用状況レポート**の検討が必要



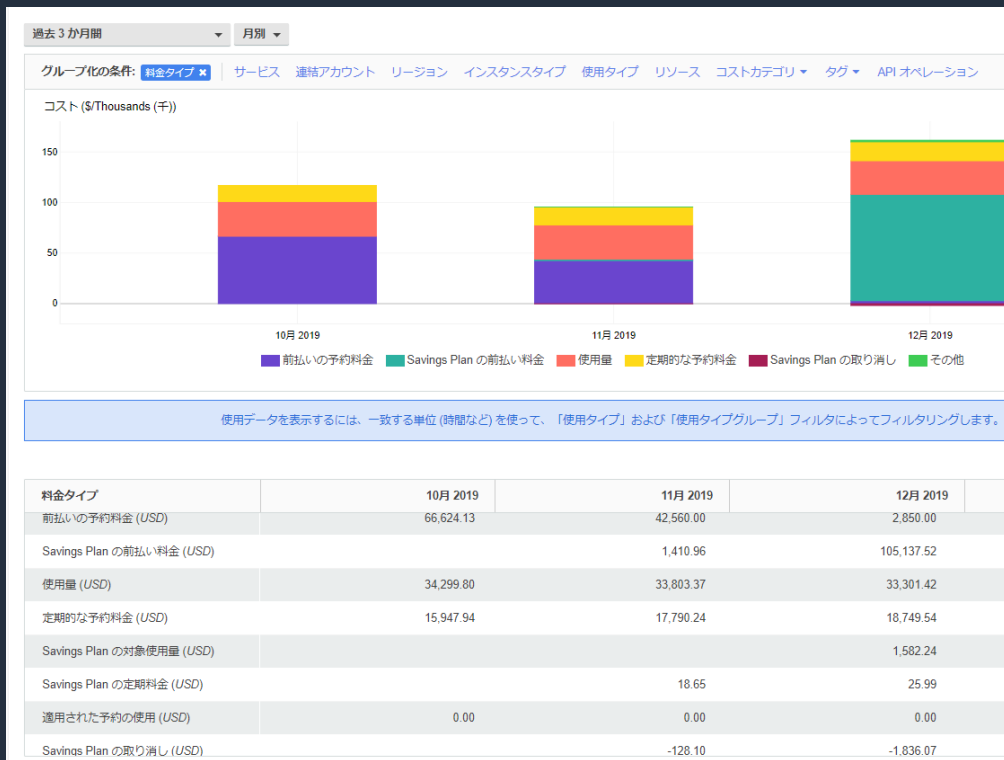
料金タイプで  
「Savings Plan の対象使用量」  
を選択しフィルタリング

注1 時間単位とリソースレベルのアクセスの有効化が必要

注2 AWS のコストと使用状況レポートには直接の費用は発生しませんが、標準の Amazon S3ストレージ料金が適用されます。

# RIとSavings Plansの両方を保有している場合のコスト確認

## 料金タイプの意味を把握する



項目	詳細
前払いの予約料金	RIの前払い料金
定期的な予約料金	RIの月額固定料金
適用された予約の使用	RIが適用された使用量に対する料金
Savings Planの前払い料金	Savings Plansの前払い料金
Savings Planの取り消し	Savings Plansにより割引かれた料金
Savings Planの定期料金	Savings Plansの月額固定料金
Savings Planの対象使用量	Savings Plansが適用された使用量に対する料金



# まとめ

# まとめ

## Cost Explorerでできること

- 最大過去13ヶ月分のAWSのコストを**グラフで可視化**
- **フィルター**や**グルーピング**によるカスタマイズ
  - メンバーアカウント毎のコスト分析
  - タグによるプロジェクト毎のコスト分析
- **リザーブドインスタンス(RI)**および **Savings Plans**の分析
  - コスト削減効果の確認
- **コスト最適化提案**の推奨
  - EC2リソースでの無駄遣いはないか
  - RIによるコスト削減の余地はないか
- 過去の使用状況から今後3ヶ月間のコストを**予測**

# 参考資料

- AWS Cost Explorer  
<https://aws.amazon.com/jp/aws-cost-management/aws-cost-explorer/>
- AWS 初心者向け Webinar ～料金編～  
<https://aws.amazon.com/jp/aws-jp-introduction/ondemand/aws-cost/>
- Cost Explorerによるコストの分析  
[https://docs.aws.amazon.com/ja\\_jp/awsaccountbilling/latest/aboutv2/cost-explorer-what-is.html](https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/awsaccountbilling/latest/aboutv2/cost-explorer-what-is.html)
- Billing and Cost Management の権限リファレンス  
[https://docs.aws.amazon.com/ja\\_jp/awsaccountbilling/latest/aboutv2/billing-permissions-ref.html](https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/awsaccountbilling/latest/aboutv2/billing-permissions-ref.html)
- 新割引オプション "Savings Plans" によるコスト最適化のご提案  
<https://www.slideshare.net/AmazonWebServicesJapan/20191212-savings-plans>
- Using Your Coverage Report  
[https://docs.aws.amazon.com/ja\\_jp/savingsplans/latest/userguide/ce-sp-usingCR.html](https://docs.aws.amazon.com/ja_jp/savingsplans/latest/userguide/ce-sp-usingCR.html)

# Q&A

お答えできなかったご質問については

AWS Japan Blog 「<https://aws.amazon.com/jp/blogs/news/>」にて

後日掲載します。



# AWS の日本語資料の場所「AWS 資料」で検索



日本担当チームへお問い合わせ サポート 日本語 ▼ アカウント ▼

コンソールにサインイン

製品 ソリューション 料金 ドキュメント 学習 パートナー AWS Marketplace その他 🔍

## AWS クラウドサービス活用資料集トップ

アマゾン ウェブ サービス (AWS) は安全なクラウドサービスプラットフォームで、ビジネスのスケールと成長をサポートする処理能力、データベースストレージ、およびその他多種多様な機能を提供します。お客様は必要なサービスを選択し、必要な分だけご利用いただけます。それらを活用するために役立つ日本語資料、動画コンテンツを多数ご提供しております。(本サイトは主に、AWS Webinar で使用した資料およびオンデマンドセミナー情報を掲載しています。)

[AWS Webinar お申込 »](#)

[AWS 初心者向け »](#)

[業種・ソリューション別資料 »](#)

[サービス別資料 »](#)

<https://amzn.to/JPArchive>

# AWS Well-Architected 個別技術相談会

毎週“W-A個別技術相談会”を実施中

- AWSのソリューションアーキテクト(SA)に  
対策などを相談することも可能

- **申込みはイベント告知サイトから**

(<https://aws.amazon.com/jp/about-aws/events/>)

AWS イベント

で[検索]



# ご視聴ありがとうございました

AWS 公式 Webinar  
<https://amzn.to/JPWebinar>



過去資料  
<https://amzn.to/JPArchive>

